Bar Radio
「尾崎浩司の時」

バーの名店として知られる、尾崎浩司さんの＜バー・ラジオ＞。
現在は青山・表参道に三代目＜バー・ラジオ＞が開かれています。
そして、那須の二期倶楽部の観季館には、伝説の初代＜バー・ラジオ＞
がほぼ丸ごと移設されています。この夏も時を遡って、香しく開店。

夏、「山のシューレ」の 5 日間。今年も尾崎さんご本人が〈バー・ラジオ〉のカウンターに立ってくださいました。毎夜、楽しみに訪れるたくさんのゲストに、格別のおもてなし。いつも変わらない、凛として、にこやかなたたずまい。心を込めて作られる、多くのファンが愛するマティーニ、工夫と気配りを込めたおいしいカクテル。二期倶楽部の自家栽培のミント、那須のフルーツも味わいの演出に一役買いました。
ちょうど「山のシューレ」の最終日のこと、世界を舞台に活躍する日本人の音楽家が二期倶楽部にご宿泊で、〈バー・ラジオ〉で楽しく、一杯。帰り際、二期倶楽部の北山ひとみ代表に、こんなコメントをくださったそうです。「日本には存在しないと思っていた、ホテルでのコミュニティの幸せな〈場〉がここにはあった。また来ます」。バーにとっては「人こそが大事」とする尾崎さんのおもてなしと「山のシューレ」の場が、またひとつ新しい出会いの物語を紡いでくれたようです。一期一会を越えて、二期二会が叶いますように。

尾崎 浩司(おざき ひろし)
1944年生。72年バー・ラジオ、86年セカンド・ラジオ、98年サードラジオをオープン。現在はサードの1店で営業。生け花や茶の湯で修めた所作や美意識を取り入れて、バーテンダーとして独特のスタイルを作り上げている。